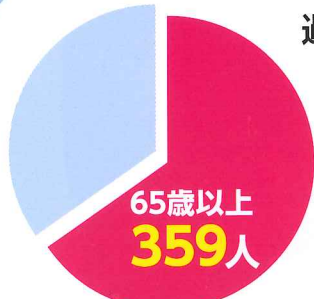




雪下ろしは
危険だよ!
油断は絶対に
しないで!!

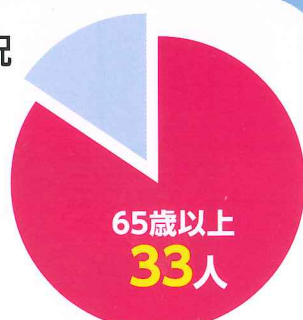
何よりも命を守ることが大切

過去5年間の発生状況



雪害事故 548人

多発!
雪害事故が
65歳以上の
高齢者の



死亡事故 39人



- 本当に雪下ろしが必要な積雪か、今一度考えてください。隣の家がやっても、自分の家が必要な状況とは限りません。
- 「自分は慣れているから大丈夫」、「いままで落ちなかったから大丈夫」は、転落した人も思っていたことです。
- 雪下ろしが必要な場合は、業者への依頼を検討しましょう。雪下ろし業者の紹介や、雪下ろしにかかった費用についての支援制度がある場合がありますので、お住まいの市町村へ相談してください。

事故に遭われた方の生の声

【概要】屋根の雪下ろし作業中に、はしごとともに転落（腰椎圧迫骨折、全治4ヶ月）

【事故前後の心境】事故前は、そもそも転落することなど考えていなかった。屋根の上でもヘルメットや命綱をつけることなく作業した。もちろんはしごも固定していない。考えが甘かった。今思えば、ヘルメットや命綱の装着、はしごの足部を雪で固定するなど、できる対策があった。後悔している。今後は気をつけたい。



安全に冬期間を過ごすためには、雪に関するこまめな情報収集が重要です。
「こちら防災やまがた!」や「山形県雪情報システム」では、
冬期間の生活に役立つ情報を随時発信しておりますので、ぜひ活用ください。

こちら防災やまがた!

<https://www.pref.yamagata.jp/bosai/kochibou/bousaijouhou/setsugai/index.html>



雪下ろし・落雪事故防止注意喚起情報 安全な除排雪の実践方法 など

山形県雪情報システム

<https://www.pref.yamagata.jp/snow/>



県内の降雪量予測情報 気象庁発表情報 ゲレンデ情報 など

命を守る除雪中の事故防止ポイント

- ✓ 晴れの日ほど要注意。屋根の雪がゆるんでいて、思わぬ落雪に巻き込まれることも。
- ✓ 排雪時の池や流雪溝などへの転落にも注意を。真のベテランこそ常に安全確保！
- ✓ 除雪機の雪詰まりの除去は、エンジンを切ってから。手を突っ込まず、雪かき棒で。
- ✓ 除雪機の安全装置は絶対に固定しない！

どうしても雪下ろしが必要な時は万全な体制で

ヘルメット

あごひもを
締めよう

これが
安全な服装
です

防寒性 ゴム手袋

動きやすい服装

厚着はダメ！

幅広で締められないもの

墜落制止用器具

(胴ベルト型・ハーネス型)

抜け落ち防止のため、
肩ベルトのついた
フルハーネス型を推奨します。

転落防止 必須アイテム

命綱

すべりにくい
ゆるみにくい

ゴム長靴

すべりにくい

安全な雪下ろし作業

8つの
ポイント

- 2人以上で周囲にも注意！
- 安全な服装で！
- 命綱を使いましょう！
- はしごはしっかり固定！
- 使いやすい除雪道具を！
- 屋根の雪のゆるみに注意！
- 無理な作業はやめましょう！
- 順序を守って、足場は特に注意！



「雪おろシグナル」は雪下ろし作業の目安となる積雪重量の推計値を地図上に表示したものです。ぜひ、ご活用ください。
<https://seppyo.bosai.go.jp/snow-weight-yamagata/>



お問い合わせ

山形県防災くらし安心部防災危機管理課
〒990-8570 山形県山形市松波二丁目8番1号
TEL.023-630-2230/FAX.023-633-4711